

# ピアノとサキソフォンの調べ in 羽地中音楽室



# 成長・貢献・感謝

羽地中学校  
学校だより 95 号  
R1. 9. 17

9月4日(水)、文化庁の文化芸術による子供育成総合事業芸術家の派遣事業として若手アーティストらによる音楽鑑賞会が音楽室でありました。今回は日程の都合で、3年生のみの鑑賞会でしたが、4名のサクソフ奏者とピアノストとのアウトリーチ活動が展開され、和やかなミニコンサートと楽器の響きについて学ぶことができました。

1曲目からインパクトが強かったです。ピアノから始まる軽やかなリズム、そしてサクソフォンのワクワクさせるようなメロディーが360度から響き、これから始まる演奏会をより楽しみにさせてくれる幕開けでした。

近くで見た演奏者の手元は、信じられないくらい高速で、特にピアノの弾き方は、今まで見たこともない素早い弾き方だったので、かっこよく見えました。

演奏を通して楽器の仕組みも教えてくれ、教科書に載っていることが、より深く理解出来る内容でした。今回の演奏会で、改めて音楽に興味を持つことができ、良い経験となりました。

K・Dさん

今回の演奏会では、ピアノストの方も来ていて、5人での演奏会でした。5人の呼吸を合わせるためか、ピアノ演奏者も息を吸っていた(ブレス)のが、印象的でした。また、演奏中で曲の節目、節目で目線を合わしながら、音のはいりを合わせている所が見えました。何故、こんなにも音が聴きやすく、心地良いの



か考えると、メロディーの他にハーモニー伴奏が入っていることがわかりました。他にもピブライトの余韻が教室に残り、徐々に消えていく感じが良かったです。高音に嫌みがなく、すごく聴きやすかったです。

同じサクソフォンでもソプラノからバリトンまで、一つ一つの楽器に色がありました。それがバラバラでなく、まとまっていた。このことは、合唱にもつながっていると思います。一人一人の音色は違うので一つにするのは難しいけれど、音が一つになれば、心に響いてくると考えました。合唱コンクール前のいい演奏会になりました。

J・Mさん



音楽は好きなので、今日の演奏会を聴いて、さらに音楽の面白さや表現力、楽しさを感じることができました。いつかアルトサクソフォンで曲が吹けたら良いなと思います。

サクソフォンの音を聴くのは初めてでした。最初の曲から迫力がありました。指の動きが速くて、さすがプロだなと思いました。ピアノでびっくりしたのは、響板です。あんなに音が響くとは、オルゴールで試してみるまでわかりませんでした。

Y・Kさん

マウスピースがとても大事な部品だとわかりました。それぞれの楽器の役割がちゃんとされていて、とてもいい響きでした。音も凄かったです。指の切り替えの早さが特に凄かったです。

それぞれの音が重なったときに、床と心臓が震えだして、鳥肌が立ちました。情熱大陸、コナン、ルパン、そうさんなどの曲がそれぞれにしか出せない音が際だっていて、すごいなと思いました。

T・Kさん

K・Mさん

